

保険薬局→薬剤部→主治医

報告日： 年 月 日 ()

抗がん剤治療に関する服薬情報提供書 (トレーシングレポート)

レジメン番号： _____ レジメン名： _____

担当医	科	先生	保険薬局名
患者ID:	性別	男・女	電話番号
患者氏名:			FAX番号
生年月日	T・S・H、西暦	年 月 日	担当薬剤師名

患者さまの治療経過に関して以下の通り報告します。

来局時に問診 薬局から患者へ連絡 患者から薬局へ連絡 (問い合わせ) その他 ()

聞き取り日: _____ 年 月 日 ()

対応者: 本人 家族 その他

患者・家族の同意: あり 得ていないが、治療上重要と思われるので報告します。

内服抗がん剤名: _____ 服用期間: _____ 月 日 () ~ _____ 月 日 () 服用 / _____ 月 日 () ~ _____ 月 日 () 休薬

服薬状況: 服用できている 服用できないことがある【飲み忘れ _____ 回 (残薬 _____ 個)】 休薬中
 →理由 飲み忘れ 用法・用量の理解不足 副作用発現 その他 ()

有害事象は原則 Grade 分類を行い、発現時期、支持療法の投与状況も必要に応じて教えてください。

※Grade 評価は CTCAE ver 5.0 に基づいて行い、コース内の最大 Grade を記載してください。

有害事象	なし	あり/Grade	発現時期	症状詳細・支持療法投与状況	医療機関への緊急連絡の症状目安 (Grade3 相当以上の症状)
悪心					カロリーや水分の経口摂取が不十分、経管栄養/TPN/入院を要する
嘔吐					経管栄養/TPN/入院を要する
食欲不振					顕著な体重減少または栄養失調を伴う (例: カロリーや水分の経口摂取が不十分); 静脈内輸液/経管栄養/TPN を要する
下痢					ベースラインに比べて軟便または水様便が 7 回以上/日の増加、人工肛門からの排泄量の高度増加; 身の回りの日常生活動作の制限
便秘					排便を要する頑固な便秘; 腹痛などにより身の回りの日常生活動作の制限
口腔粘膜炎					高度の疼痛; 経口摂取に支障あり。
倦怠感					身の回りの日常生活動作を制限するだるさ、または元気がない状態。
体重減少					ベースラインより 20%以上減少; 経管栄養または TPN を要する。
末梢神経障害					高度の症状; 身の回りの日常生活動作の制限
高血圧 (血圧上昇)					収縮期血圧 ≥ 160mmHg または拡張期血圧 ≥ 100mmHg; 内科的治療を要する; 2 種類以上の薬物治療または以前よりも強い治療を要する。
手足症候群					疼痛を伴う高度の皮膚の変化 (例: 角層剥離、水疱、出血、亀裂、浮腫、角質増殖症); 身の回りの日常生活動作の制限
皮膚障害					体表面積の >30% を占め、身の回りの日常生活動作の制限を伴う。 ※SJS や TEN は即受診。
その他の症状					

その他報告事項 (処方提案など)

〔注意〕緊急性のある情報提供に関しては江南厚生病院へ直接お電話ください 電話: 0587-51-3333 (代)

病院記載欄: FAX 受付内容チェック済

(病院) 担当薬剤師 _____

(参考) 有害事象のグレードについて

有害事象	Grade	具体的症状
悪心	Grade1	摂食習慣に影響のない食欲低下
	Grade2	顕著な体重減少、脱水または栄養失調を伴わない経口摂取量の減少
	Grade3	カロリーや水分の経口摂取が不十分、経管栄養/TPN/入院を要する
嘔吐	Grade1	治療を要さない
	Grade2	外来での静脈内輸液を要する；内科的治療を要する
	Grade3	経管栄養/TPN/入院を要する
食欲不振	Grade1	摂食習慣の変化を伴わない食欲低下
	Grade2	顕著な体重減少や栄養失調を伴わない摂食量の変化；経口栄養剤による補充を要する
	Grade3	顕著な体重減少または栄養失調を伴う（例：カロリーや水分の経口摂取が不十分）；静脈内輸液/経管栄養/TPNを要する
下痢	Grade1	ベースラインと比べて<4回/日の排便回数増加；ベースラインと比べて人工肛門からの排泄量が軽度増加
	Grade2	ベースラインと比べて<4-6回/日の排便回数増加；ベースラインと比べて人工肛門からの排泄量が中等度増加；身の回り以外の日常生活動作の制限
	Grade3	ベースラインと比べて7回以上/日の排便回数増加；入院を要する；ベースラインと比べて人工肛門からの排泄量の高度増加；身の回りの日常生活動作の制限
便秘	Grade1	不定期または間欠的な症状；便軟化薬/緩下薬/食事の工夫/浣腸を不定期に使用
	Grade2	緩下薬または浣腸の定期的使用を要する持続的症状；身の回り以外の日常生活動作の制限
	Grade3	排便を要する頑固な便秘；身の回りの日常生活動作の制限
口腔 粘膜炎	Grade1	症状がない、または軽度の症状；治療を要さない
	Grade2	経口摂取に支障がない中等度の疼痛または潰瘍；食事の変更を要する
	Grade3	高度の疼痛；経口摂取に支障がある
倦怠感	Grade1	だるさがある、または元気がない
	Grade2	身の回り以外の日常生活動作を制限するだるさがある、または元気がない状態
	Grade3	身の回りの日常生活動作を制限するだるさがある、または元気がない状態
体重減少	Grade1	ベースラインより5-<10%減少；治療を要さない
	Grade2	ベースラインより10-<20%減少；栄養補給を要する
	Grade3	ベースラインより≥20%減少；経管栄養またはTPNを要する
末梢神経 障害	Grade1	症状がない
	Grade2	中等度の症状；身の回り以外の日常生活動作の制限
	Grade3	高度の症状；身の回りの日常生活動作の制限
高血圧 (成人)	Grade1	収縮期血圧120-139mmHgまたは拡張期血圧80-89mmHg
	Grade2	ベースライン正常範囲の場合は収縮期血圧140-159mmHgまたは拡張期血圧90-99mmHg；ベースラインで行っていた内科的治療の変更を要する；再発性または持続性（≥24時間）；症状を伴う>20mmHg（拡張期血圧）の上昇または以前正常であった場合は>140/90mmHgへの上昇；単剤の薬物治療を要する
	Grade3	収縮期血圧≥160mmHgまたは拡張期血圧≥100mmHg；内科的治療を要する；2種類以上の薬物治療または以前よりも強い治療を要する
手足症 候群	Grade1	疼痛を伴わない軽微な皮膚の変化または皮膚炎（例：紅斑、浮腫、角質増殖症）
	Grade2	疼痛を伴う皮膚の変化（例：角層剥離、水疱、出血、亀裂、浮腫、角質増殖症）；身の回り以外の日常生活動作の制限
	Grade3	疼痛を伴う高度の皮膚の変化（例：角層剥離、水疱、出血、亀裂、浮腫、角質増殖症）；身の回りの日常生活動作の制限
ざ瘡様 皮疹	Grade1	体表面積の<10%を占める紅色丘疹および/または膿疱で、そう痒や圧痛の有無は問わない
	Grade2	体表面積の<10-30%を占める紅色丘疹および/または膿疱で、そう痒や圧痛の有無は問わない；社会心理学的な影響を伴う；身の回り以外の日常生活動作の制限
	Grade3	体表面積の>30%を占める紅色丘疹および/または膿疱で、中等度または高度の症状を伴う；身の回りの日常生活動作の制限；経口抗菌薬を要する局所の重複感染

CTCAE v5.0 (Common Terminology Criteria for Adverse Events; 有害事象共通用語基準) より抜粋